

ロウイングは、艇の進行方向に背を向けて座り、オールを単純なテコとして使い、筋力で進むスポーツです。

1 ロウイング・漕艇・ボート

Rowing

ロウは英語でrow, 「漕(こ)ぐ」という動詞, ロウイング(rowing)は, 「漕ぐこと」を意味します。現在, 競技の公式名称は「ローイング」と表記されます。本書では, 英語の発音に近い「ロウイング」で記述します。他に, 漕艇(そうてい), ボート(競技), 競漕(きょうそう)などとも呼ばれます。ひとつの艇に乗るチームを, クルー(crew)と呼び, 漕手(そうしゅ, Rower)と舵手(だしゅ, コックス, coxswain)がいます。漕手は, オールを持って漕ぎ, 舵手は舵(ラダー)の操作と漕手への指示を担当します。舵手のいない艇種もあります。

2 競漕艇(ボート)

Boat, Shell

競技スポーツとしてのロウイング(競漕, 漕艇)で使われるボートは, 艇(てい), 競漕艇, シェル[shell:卵の殻や貝のこと。船体が卵の殻のように丸く薄いこといから], スカル[scull:語源はオールのタイプ)などと言います。

公園に浮かぶいわゆる「お椀ボート」との違いは, 「座席が前後に動き, 脚力を利用して漕ぐ」構造になっていることです。また, 競漕艇は, 直線的に速く進むことを目的としていて, 軽量で細長く, 船底は丸い形をしています。またオールの支点となるオールロックが, 舷側(げんそく。船の「へり」の部分)から張りだしたりガー(外に張り出した艀装(ぎそう))にとりつけられています。

3 オール

Oars and Sculls

オールには, 2つのタイプがあります。

- ・スイブ: 漕手1人が1本のオールで, 艇の片側を漕ぐ。
- ・スカル: 漕手1人が2本のオールを持ち, 両舷を漕ぐ。

スイブとスカルは, オールの種類の呼び名ですが, そのオールを使う艇のタイプの呼びかたにもなります。オールという用語が, 狭い意味での「スイブ」の意味に使われることもあります。一般に, 漕手数が同じ艇では(例:ダブルスカルとなしペア), 身体と艇に対する運動の対称性により, スカルのほうがスイブよりも少し高速です。(注:スイーブ, スイブ, スウィーブなどは同じsweepです。)



スイブオール(左)は長く, スカルオール(右)は短い。

4 艇の種類(競漕種目)

Kinds of boats

現在, 国際的に使用されている競漕艇は, すべてシェル艇で, 現在8つの種類があります。また, コースタル・ロウイングといって, 波に強く, 波のある海岸での競技も始まり, そのための艇もあります。

他の艇種として, 日本では, ナックルフォアがあります。つきフォアと同じ, 舵手付きの4人漕ぎスイブ艇ですが, 横断面形状が指関節を曲げたように平面的で, やや重い艇です。ナックルフォアは, 1990年前半に本格的な競技種目から廃止されましたが, 市民レガッタなど初心者向けのレガッタでは, 現在も盛んに使われ, 練習で使っているクラブも多くあります。

オーシャンスカルは, 偏平で安定のよいダブルスカルの一種で, 中学のレースなどでまだ使用されているところがあります。フィックスは, スライディングシート艇より一時代前の艇種で, 固定席の6人漕ぎ艇で, カッターに近いものです。愛媛県宇和島東高校ではボートを抗議として「校技」として, 今でもフィックスを使って校内レガッタを開催しています。

日本の高校生の公式大会では, スイブ種目が廃止され, スカル種目に統一されています。つまり, 舵手付きクォドルプル, ダブルスカル, シングルスカルの3艇種です。

種目	略号	舵手	漕手	タイプ	全長	最小重量	解説
エイト	8+	あり	8名	スイブ艇	約16m	96kg	競漕艇の中では最も速い。
クォドルプル	4×	なし	4名	スカル艇	約12m	52kg	エイトについて速い。
舵手つきクォドルプル	4×+	あり	4名	スカル艇	約13m	53kg	ジュニア, 女子種目として復活。
フォア (舵手なしフォア)	4-	なし	4名	スイブ艇	約12m	50kg	国際的にはつきフォアよりも主流。
つきフォア (舵手付…)	4+	あり	4名	スイブ艇	約13m	51kg	日本での普及度は一番である。
ダブルスカル	2×	なし	2名	スカル艇	約10m	27kg	2人漕ぎでは一番速い
ペア (舵手なしペア)	2-	なし	2名	スイブ艇	約10m	27kg	技術的には最も難しい。
つきペア (舵手付…)	2+	あり	2名	スイブ艇	約10m	32kg	シングルスカルより遅い。
シングルスカル	1×	なし	1名	スカル艇	約8m	14kg	唯一の個人種目

※競漕規則の改訂で, 公式の競技種目名称として, 舵手なしフォア→フォア, 舵手なしペア→ペア などになりました。一般には, なしフォア/つきフォア, なしペア/つきペアが, 明確で, あまりこだわる必要はないでしょう。